

決算審査特別委員会での審査状況

平成 26 年度の一般会計、各特別会計（国民健康保険事業、地方卸売市場事業、後期高齢者医療、介護保険事業、温泉事業）、企業会計（水道事業、下水道事業、病院事業）決算は、9月14日、15日、16日に開催された、議員全員で構成される決算審査特別委員会で審査され、いずれも認定すべきものと決まりました。

主な質疑を要約し、掲載します。

一般会計

質問 市制施行十周年記念事業として作成したオリジナルナンバードレスは何枚交付したのか。

答弁 五千枚作成し、昨年度は五十九枚、今年度八月までに八十四枚、計百四十三枚交付しています。今後も交付申請があった際はオリジナルと標準のどちらかを選んでいただくようにします。

質問 老人クラブへの補助額は一律か。

答弁 単位老人クラブへは一クラブ当たり四万四千二百円を補助しています。

質問 カラス捕獲用の箱わなによる捕獲数は。

答弁 カラスの群れの移動等があり、昨年度はゼロでした。今年度はこれまでで二十八羽捕獲しています。

質問 健康寿命延伸事業を実施した効果は。

答弁 健康とわだこまりなど健診受診

率向上に向けてさまざまな取り組みの結果、特定健診受診率は暫定数値で三・四・四％を見込んでおり、若干ですが効果が上がっていると思います。

質問 先日千葉県で実施した十和田産品のトツプセールスについての所見は。

答弁 店舗側からは十和田産品は物が良く、高くて売れるとのこと、これからも取り扱いたいとの声がありました。今後もなぜおもしろいのかなどをPRすることでもっと広がると思っています。

質問 プロジェクションマッピングを開催した際に実施した飲食店をめぐるスタンプリーの成果は。

答弁 一定数の来場者がありました。周知不足等で効果が一部にとどまったので、今年度は改善して実施したいと考えています。

質問 公園遊具の点検の実施状況は。

答弁 都市公園十七カ

所の遊具について、有資格業者による点検を年三回実施しているほか、月一回職員による目視、打診等の調査を実施しています。その結果、撤去が必要な施設はありませんでした。

質問 防災士の養成は今後どのような計画で行っていくのか。

答弁 各町内会や複数の町内会で組織する自主防災組織の中のリーダーとして防災士の資格を取得していただくことで進めています。希望者がだんだん少なくなっており、来年度どのような形にするかは現在検討中です。

質問 日本一を目指した特色ある教育活動の推進事業として取り組んでいる中で、これはすごいという事例は。

答弁 各学校ともバラエティーに富んでおり、非常に頑張っています。例えば十和田中学校では「日本一健康で前向きな生徒の育成を目指して」として取り組んだ結果、全国紙等から日本一

に表彰されるなどの成果が見られています。

質問 耐震強度不足のため使用禁止となった屋内グラウンドの代替施設であるアネックススポーツランドへのバス運行業務の内容は。

答弁 主に子供を対象に、昨年十二月からことし三月までの土日祝祭日に運行しました。一月に一件、二月に三件、三月に二件の計六件で合計百九十五人の利用がありました。

特別会計

（介護保険事業）

質問 高齢化に当たり歳出がふえるのはわかるが、歳入がふえている理由は。

答弁 主な理由としては介護給付費の増に対応するための基金の繰入金、国庫支出金、支払基金等の歳入額が増加したことによるものです。

（温泉事業）

質問 温泉使用料の算定方法の基準は。

答弁 条例の規定に基づき、温泉の受給量に二千四百三十円を乗じて得た額に百分の百八を乗じて得た額を徴収しています。

企業会計

（病院事業）

質問 院内保育園の利用状況は。

答弁 当初定員十名でしたが、四、五月は利用者がありませんでした。六月からふえ始め、三月には十一名になっていました。ことしから定員を十五名にふやしました。

質問 人間ドック等の受け入れ人数には余裕があるか。

答弁 使用する機器の関係で人数の上限が決まっています。現状ではこれ以上は厳しいですが、季節的に夏場が多く、冬になると件数が落ちます。時期をずらしてもらうことでもう少しふやせると思いますので、このことを啓発していくなど、方法を考えていくかと思っています。